

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52328	教育相談 Educational Consultation	井手裕子		専門	2	必修	2年後期

科目の概要

教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（教育相談の意義、カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。具体的には、教育現場で児童・生徒、および保護者や職員に配慮した教育相談を行う際に必要なカウンセリングの基本的知識や理論、姿勢について学習する。実際場面でのロールプレイを演習的に多く取り入れ、教育現場で役立つ援助方法を体験し、子どもの気持ちの受け止め方と応答方法、保護者との相談面接の方法などカウンセリングを基礎として理解を深める。また、保護者支援の基礎と実践場面を理解しシミュレーションする。これらの取り組みを通して、幼児教育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身に付ける。

病院、大学院実習施設、保健所、学校、保育所等での臨床心理士としての実務経験があり、専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
<p>教育相談の意義（保護者への保育者からの支援、保護者からの相談に対する支援の差等）</p> <p>基本的な相談を受ける方法（来談者中心療法、行動療法、精神分析的な心理療法から学ぶ信頼関係、守秘義務、関わり方等）</p> <p>教育相談の実践場面（不登校、虐待、いじめ、障害、保護者の精神的病気等）</p>	<p>教育相談の意義と理論</p> <p>一般目標：学校における教育相談の意義と理論を理解する。</p> <p>到達目標・・・1）学校における教育相談の意義と課題を理解している。2）教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</p> <p>教育相談の方法</p> <p>一般目標：教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的専門を含む）を理解する。</p> <p>到達目標・・・1）幼児、児童及び生徒の不適応や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発達のシグナルに気づき把握する方法を理解している。2）学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。3）受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。</p> <p>教育相談の展開（実践場面）</p> <p>一般目標：教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。</p>

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例

前に踏み出す力	主体性	調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。
	働きかけ力	
	実行力	事例検討、グループ検討等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	事例検討等で事例を読み取り、登場人物のニーズを把握し、解決の手だてを把握できる。
	計画力	
	創造力	事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる。
	傾聴力	発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図をくみ取りながら聴くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：青木滋昌「精神分析治療で本当に大切なこと」誠心書房
 その他：適宜プリントを配布する。
 参考文献：幼稚園教育要領（平成30年3月最新版）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：障がい児保育、教育心理学
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<p>理論と実践が結びつけられるようにしてほしい。そのため、まず知識を得ること、次に実習を行い、知識がどのように実習に生かされたかを確認すること。その繰り返しを行うことで、実際の保育場面において、実践が可能となる。</p>	<p>授業は集中して聞き、疑問がある場合は積極的に質問すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20分を超えた遅刻は欠席扱いとする。 ・授業態度が悪い場合（居眠り、私語、周囲に迷惑をかける行為等）はマイナス扱いとすることがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	90	①	✓	授業で学習した内容の理解度を確認する。 ・代表的な心理療法を理解し、説明することができるか ・実際のロールプレイにおいて、理論と実践が結びついているか ・心の病気について、症状を理解しているか 以上を問う問題を出題し、評価する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)			①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 調べ学習等の自発的な学習に主体的に取り組む。 (実行力) 事例検討, グループ検討等の困難な課題に粘り強く取り組む。 (課題発見力) 各理論を踏まえ, 発達の問題点を考え, 自分の発達や, 事例につなげていくことができる。 (創造力) 事例の解説通りでなく, それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し, 支援計画を考えることができる。 (発信力) 自分の意見をクラス全体にわかりやすく発表できている。相互に教え合うアクティブ・ラーニング形式の学習を実行することができる。 (傾聴力) 静かに集中して聞き, 要点を理解しようとしている。 (規律性) 学習意欲欠如をきたす行動をせず, ルールを守ることができる。欠席した場合は, 欠席届を提出し, フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S: Aの到達レベルに加え, 社会人基礎力を習得できる。 A: 筆記試験, 社会人基礎力(学修態度), その他(課題)の評価方法において十分な力を発揮できる。	B: 筆記試験, 社会人基礎力(学修態度), その他(課題)の評価方法において力を発揮, もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できる。 C: 2つの評価方法において力を発揮, もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 保育園、幼稚園における相談支援とは 学校のカウンセリングについての定義	講義 グループ討議	幼児教育における相談支援の在り方が理解でき、説明できる。また、学校における問題行動の内容から、教育相談の必要性を理解し、説明することができる。	復習：学校カウンセリングについて記載されている配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
2週 /	教育現場の専門性を生かした支援を学ぶ(意義と課題を含む)。教師が相談を行う際の、面接の目標づけ、ケースの見立て、支援計画の立案、ケース会議と他教員・スクールカウンセラー等との連携、学校不適応(いじめ、不登校・園、虐待、非行、その他)の理解と対応を概観する。 スキル訓練を行う スキルの重要性	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	保育の現場で特性や専門性を相談支援にどう活かすかが理解できる。スキルの重要性を話題として、話すこと・聴くことの基礎を獲得できる。	予習：保育所保育指針幼稚園教育要領の第1部第4章 p304～317を読む。 復習：幼児教育における相談支援の意義についてのプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3週 /	臨床心理学的視点からの心理療法1. 来談者中心療法について	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	来談者中心療法についての知識を説明することができ、なぜ教育相談に必要であるかをシミュレーションできる。	予習：プリントの来談者中心療法が記載されている部分を読み、どのような療法であるのかを具体的に調べてくる。 復習：記述する等して完成したプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4週 /	臨床心理学的視点からの心理療法2 行動療法、認知行動療法について	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	行動療法、認知行動療法の知識を説明することができ、実際の場面を想定して創造できる。	予習：プリントの行動療法について書かれている部分を読み、どのような療法であるのかを具体的に調べてくる。 復習：記述して完成したプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5週 /	臨床心理学的視点からの心理療法3 精神分析的な心理療法について	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	精神分析的な心理療法の知識を説明することができる。	予習：プリントの精神分析的な心理療法について記載されている部分を読み、わからない用語をしらべてくる。 復習：記述して完成したプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 傾聴力 課題発見力 規律性
6週 /	遊戯療法、箱庭療法について	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	遊戯療法、箱庭療法の知識を説明することができる。幼児への臨床的な応用を理解することができる。守秘義務についての支援が理解できる。	予習：プリントの遊戯療法、箱庭療法の部分を読み、わからない用語は調べてくる。 遊戯療法、箱庭療法についてのプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7週 /	精神分析的な心理療法における共感、傾聴について	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	共感、傾聴の意味を話し合うことができる。	予習：テキストp5～28を読む 復習：テキストを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	共感性の応答訓練について クライアントの心理、クライアントの準拠枠についての講義と、スキルトレーニング(演習問題)	講義 グループ討議 スキルトレーニング 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	心に寄り添う支援と具体的に支える支援を実際の文章から理解できる。また熟考、関連付け、優先順位付けのスキルを使用できる。	予習：「準拠枠」について調べてくる。 復習：共感性の応答訓練に関するプリントを見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	面接法を学ぶ 座り方と距離、非言語的表現を考える。	講義 グループ討議 発表 前回の配布プリントの フィードバックおよび 解説	面接の実際の方法について説明することができる。非言語的表現を考え、発表することができる。	予習：プリントに記載されている面接についての箇所を読み、具体的に想像(シミュレーション)してみる。 復習：プリントを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	ロールプレイによる言語的関わりを体験する。	アクティブラーニング 方法の呈示 実習 振り返りのための感想プリントの作成	体験学習を通して、人の話を傾聴すること、傾聴されること、全く話を聞いてもらえないことについて説明することができ、実践につなげていくことが文章で表現できる。	予習：ロール・プレイで何を相談するかを考えてくる。 復習：感想レポートを完成させる	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	ロールプレイによる非言語的関わりを体験する。 風景構成法 スクイグル法の体験学習	アクティブラーニング 方法の呈示 実習 振り返りのための感想プリントの作成	風景構成法、スクイグルのしくみを説明できる。枠を設けることについての必要性を説明できる。体験学習の感想レポートを完成させることができる。	復習：感想レポートを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	いじめ、不登校、不登園の問題への対応を学ぶ。チーム医療を参考に教育への応用を考える。これらの問題の実態と本質、対応について教師の立場からの理解を深める。	講義 グループ討議	以下の事例検討を通して支援をシミュレーションできる。 1. 養育力向上のための情報提供。2. 苦情対応。3. 保護者同士の関係改善。4. 障がい受容。5. 肢体不自由児の事例。	予習：不適應行動のプリントを読み、わからない用語を調べてくる。 復習：不適應行動のプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	事例検討1 不登園の母親からの相談について 具体的な準備、想定を考えてみる。	講義 グループ討議 発表	対応と家庭への支援の実際を理解し、説明できる。また事例検討から支援をシミュレーションできる。	予習：事例検討1を討論するために必要な知識(不登校に関する用語)を調べてくる。 復習：発表のプリントを見直す。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	事例検討2 虐待、または発達に問題のある子どもの母親支援について 具体的な準備、想定を考える。	講義 グループ討議 発表	対応と家庭への支援の実際を理解し、説明できる。また事例検討から支援をシミュレーションできる。	予習：事例検討2を討論するために必要な知識(虐待の定義等)を調べてくる。 復習：発表等のプリントを見直す	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	精神的な病気について理解を深め、現場での母親対応につなげていくための知識を得る。 (人格障害、ヒステリー、強迫性障害、摂食障害等)	講義 調べ学修 ポスターセッション	精神的な病気の症状を理解し、現場での母親対応を行うときの対応につなげることができる。	予習：精神的な病気についてのプリントを読み、事前に調べてくる。 復習：ポスターセッションを見直す。	90 90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力